



# 住民主体の交通サービスデザインの実践

## ～佐賀市春日北校区における2度の試験運行と地域の熱量上昇～

金丸晃大（株）ケー・シー・エス、佐賀市 交通政策課

### 佐賀市の状況

強いマイカー志向を背景に**公共交通の利用低迷**

成り手不足・高齢化による**運転手不足**

高齢化率（R2:28.9%）20年前から10pt増

高齢単独世帯は10年間で1.4倍

**高齢者の移動確保ニーズはさらに高まる**

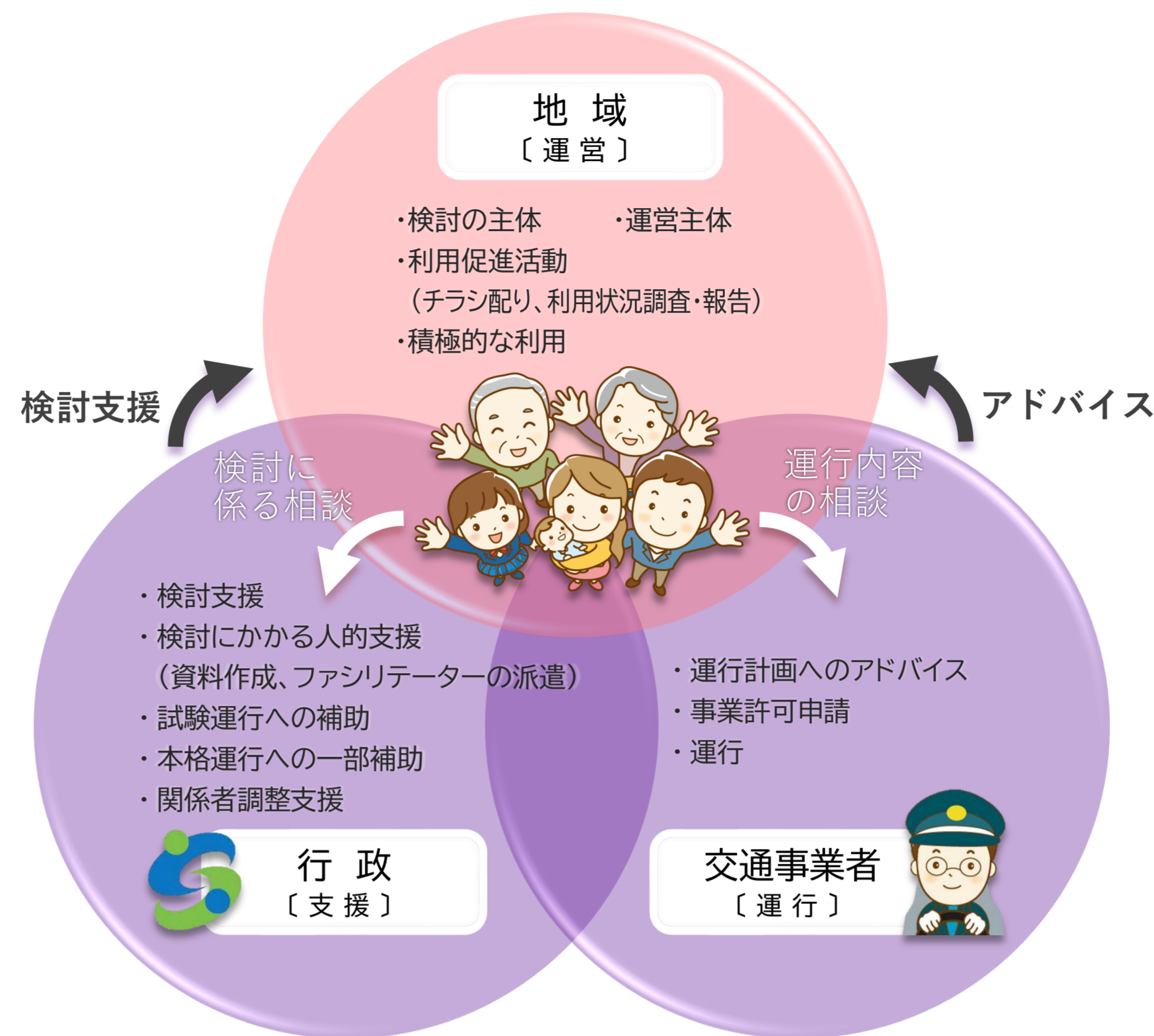
人口の25.6%が該当

**公共交通空白・不便地域**

**地域公共交通のマネジメントに、  
行政のみのアプローチでは対応しきれない  
（行政も人手・予算には限界がある）**

### 公共交通空白地域等における 地域内交通活性化モデル事業

行政、交通事業者、地域の協働により  
地域の公共交通を検討する



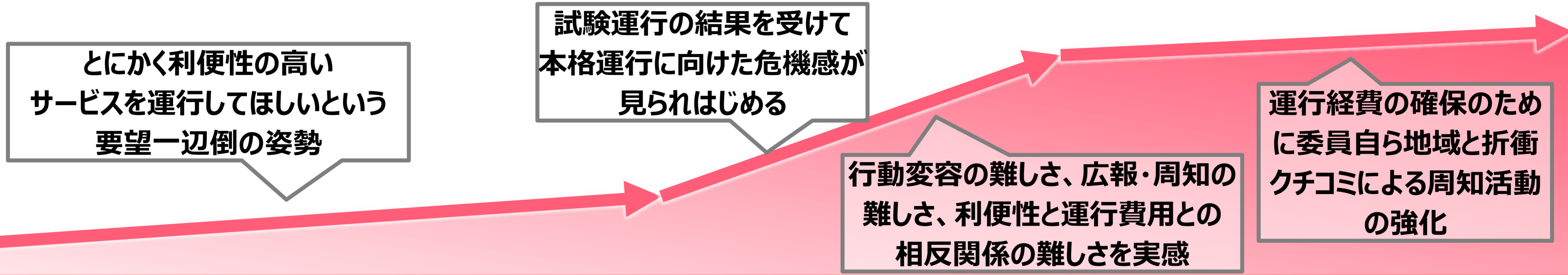
### 春日北デマンドタクシー 「きたきた号」

運行区域	自校区内全域、隣接校区の一部店舗、その他公的機関等
運行日	月・水・金曜日
運行時間帯	往路：7:30発～14:00発 復路：10:30発～15:50発
運賃	大人400円/回
割引	きたきたパスを提示すると、 大人100円/回
利用対象	校区内住民が基本



### 春日北デマンドタクシー「きたきた号」運行開始までの取組の経緯（モデル事業第1号）

※ファシリテーターの主観  
委員の熱量



R2.11 R3.2 R3.5 R3.7 R3.9 R3.10 R3.11 R4.4 R4.6 R4.8 R4.10 R5.1 R5.3 R5.4 R5.5 R5.7 R5.8

協議会 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 **試験運行** 第8回 第9回 第10回 **再試験運行** 第11回 第12回 第13回 第14回 **本格運行** 8月実績 37.9% (利用者113人)

試験運行結果  
目標：運行率30%  
実績：運行率20% **目標未達**  
実績：運行率37% **目標達成**

協議会での発言

- 春日北校区に住んでよかったと思われるような、特色ある交通を導入したい。
- 高齢者をターゲットにしたサービスが欲しい
- 学生の通学もカバーできるといい。
- 校区外の商業施設等にも行けるサービスが欲しい。

周知が不十分だった。クチコミでの周知が有効だが、できていない。認知度を上げる取り組みを強化していくべき。

高齢者をターゲットにしていたが、ニーズに対応できていなかったかもしれない。サービスの見直しが必要。

企業協賛などの地域の負担軽減も考えていく必要。

ニーズが確認された。本格運行に向けて、組織構築、運行経費の確保の検討を本格化させていく。

本格運行に向けて、地域の機運を高めていく必要がある。

もっと利用しやすい運賃となるような工夫を市で検討してほしい。

委員の活動

- 地域の商業施設などに周知ポスターの掲示。
- 周囲の人へのクチコミ。
- ニュースレターの発行
- 周知ポスターの更新。
- 周囲の人へのクチコミの強化。
- 利用方法説明会の開催【新規】
- 車両のラッピング【新規】
- 本格運行に向けた運営体制を地域内に組織。
- 運行費の地域負担金を自治会からの拠出で確保。
- 地域事業所を回り、協賛金を確保
- 地域が県の支援事業に申請し周知広報費を確保。
- 各種周知活動を継続&強化

本格運行まで14回に及ぶ協議会。回を追うごとに関連な意見が交わされた



自治会長会との折衝など根気強く関係者調整を進めた香田会長

資料：NHK佐賀

委員みんなで、集めた協賛協賛事業所は、運行案内のポスターやチラシに掲載



きたきた号

オリジナルTシャツを作成して、「きたきた号」を盛り上げてくれた方々

